

文学研究科・理工学研究科地理学専攻 博士後期課程

【解答（解答例）又は解答のポイント】

○印の科目の解答（解答例）又は解答のポイントを掲載しています。志願者がいなかった専攻については、掲載しておりません。

一覧にない専攻については、社会人入試を導入しておりません。

研究科	専攻	試験科目	入試方式	令和8年度	ページ
文学	哲学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	3-7
文学	日本史	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	実施なし	8
文学	外国史	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	9-13
文学	国文学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	実施なし	14
文学	中国学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	15-18
文学	英文学	外国語 専門	一般入試 第2期	実施なし	19
文学	ドイツ文学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	20-23
文学	社会学（社会学）	外国語 【日本語】 専門	一般入試 第2期	○	24-29
文学	社会学（社会福祉学）	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	実施なし	30
文学	教育学（教育学）	外国語 【日本語】 専門	一般入試 第2期	○	31-38
文学	教育学（体育学）	外国語 専門	一般入試 第2期	実施なし	39
文学	心理学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	40-46
理工学	地理学	外国語 専門	一般入試 第2期	実施なし	47

【】印の日本語科目は外国人留学生向けです。

※ 印の日本語科目は共通問題です。1-2 ページに掲載しております。

日本史・外国史・国文学・ドイツ文学・社会学専攻社会福祉学（共通）

日 本 語

日本史・外国史・国文学・ドイツ文学・社会学専攻
社会福祉学（共通）：日本語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以 上

哲学専攻

外国語

哲学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

外国語（ドイツ語）

出題されたのは以下の文章である。

Heinrich Rombach, *Substanz, System, Struktur*. Verlag Karl Alber, 1965, S. 211-212.

模範となる訳に関しては下記を参照のこと。

ハインリッヒ・ロムバッハ著，酒井潔訳，『実体・体系・構造 機能主義の有論と近代科学の哲学的背景』，ミネルヴァ書房，1999年，261～262頁。

以　　上

哲学専攻

専 門

哲学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の4問中、2問を選んで論述しなさい。

（ただし、それぞれ別の解答用紙に、選択した問題番号を記して解答すること）

- I. パトナムの「双子地球 Twin Earth」の思考実験を手がかりとして、意味論的外在主義と内在主義（個人主義）を比較検討し、それらの優劣を判定しなさい。

解答のポイント

以下の点に言及して答案が作成されているかどうかをチェックする。
さらに、二次元意味論などの発展的な考え方を引き合いに出しつつ議論を構成してもよい。

- （1）パトナムの「双子地球」の思考実験の概要が適切に記されているかどうか。
- （2）意味論的外在主義の概要が適切に記されているかどうか。
- （3）意味論的内在主義の概要が適切に記されているかどうか。
- （4）意味論的外在主義と内在主義の対立において一般的に問題とされる「発話者の意図」について、それぞれの立場に立って適切に説明されているかどうか。

- II. 西洋倫理思想における「人格」の概念について、その起源と歴史的変遷、現代における問題を論述しなさい。

解答のポイント

「その起源」については、「人格」を意味するヨーロッパ語、例えば英語の person の語源がラテン語 persona であり、本来、古代の演劇で役者が被る仮面を意味することを指摘してほしい。さらに、「仮面」が「人格」の意味になるのは、キケロを通して、中期ストア派のパナイティオスにまで遡ることが述べられていればなおよい。

「歴史的変遷」は多岐にわたるが、例えば以下に挙げる論点が複数論じられていることが望ましい。初期キリスト教神学における三位一体論。ボエティウスの persona の定義。ロックにおける human と person の区別。カントの倫理学における人格の概念（これは必須）。

「現代における問題」も多岐にわたるが、例えば、以下に挙げる論点が複数論じられていることが望ましい。理性、自由意志、自律といっ

た近代の理念が揺らぐ中で人格概念の再検討が必要となっていること。具体例として、生命倫理における人格の問題、AI やロボットにおける人格の問題、さまざまな観点からの人格の同一性の問題、非人格性の倫理の試みなど。

- Ⅲ. 「藝術の学としての美学の歴史」を、少なくともプラトン、アリストテレス、ヘーゲル、ニーチェ、フィードラーの思想に言及しながら概説しなさい。

解答のポイント

本設問は、後期課程進学者に望まれる美学史的知識を問うために出題された。

哲学的美学が藝術学的思考との対決のなかで、藝術の学としての意味を濃厚に獲得するようになった経緯が自分なりに構成できることを、本設問は期待している。その際、(1) プラトン美学における形而上学的傾向からアリストテレス美学の経験主義的かつ藝術学的傾向によって、そうした「経緯」への先鞭がつけられたこと、(2) ヘーゲルの観念論的美学に適応された藝術諸学の成果、(3) ニーチェにおける世界背後的な価値の拒絶と従来の意味の美学の拒否、さらに美学なき藝術の学への方向性、(4) フィードラーあたりから始まる藝術学 (Kunstwissenschaft) の諸成果への美学側の意識などは、記述されてよいポイントと考えられる。

- Ⅳ. 中国における訳経と経録について、経緯や諸区分の特徴等を代表的な人物や文献をあげて説明しなさい。

解答のポイント

中国における訳経の年代区分として、古訳、旧訳、新訳の時代があることを示すことが重要である。最初期の訳経僧である安世高や竺法護などの古訳の時代の翻訳経典をあげ、仏教理解の発展および格義仏教にも言及することが望ましい。それに続く旧訳の時代には代表的な訳経僧として鳩摩羅什や真谛らの翻訳経典をあげ、鳩摩羅什の翻訳によって初めて訳文のみによる仏教理解と研究が可能となったことを特徴として示す。玄奘の登場により新訳の時代となり、玄奘の代表的な翻訳経典をあげ、その時代の特徴として、旧訳の音写語について批判し訳し変えたこと、新しい訳語を多く採用して原文に対して言語学的に忠実であろうとした点に言及することが望ましい。

以 上

日本史専攻

実施なし

外国語
専門

外国史専攻

外国語

外国史専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

外国史専攻

専 門

外国史専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

[設問 1]

※各用語とも、以下の①～③について記述内容を加点ポイントとして採点（「（１）」のみ具体的採点ポイントを例示）。

（１）奉天法政学堂

①設立時期・沿革：

（i）1907 年開校（1906 年の盛京將軍趙爾巽の建議が契機），（ii）1916 年奉天公立外国語専門学校に，更に 22 年には奉天公立文学専門学校に改組される，23 年に東北大学に吸収合併される。

②設立目的・教育内容：

（i）所謂「光緒新政」に対応（立憲制，地方自治）できる人材養成を目的として設立，（ii）海外から招聘した外国人教員や海外留学経験のある中国人教員より，主に法律，政治，経済学に関する教育が行われた。

③歴史的意義：

（i）中国東北地域の政治的自治を担う人材が養成され，張作霖・張学良 地方政権の人材的基盤と形成する意義をもった，（ii）

（２）東北大学

①設立時期・沿革

②設立目的・教育内容

③歴史的意義

（３）謝蔭昌

①略歴

②主な活動歴

③活動がもった歴史的意義

（４）馮庸

①略歴

②主な活動歴

③活動がもった歴史的意義

(5) 満鉄附属地

①成立経緯と設立目的

②附属地内統治の法的構成と政治的・経済的活動概要

③歴史的意義（日中関係の展開，現地の発展実態にもった意義など）

(6) 東北政務委員会

①成立経緯と設立目的

②活動実態

③歴史的意義（国民政府との関係，日中関係の展開にもって意義など）

[設問2]

※張学良地方政府の教育政策の諸特徴に関して，以下の点〔(1)～(3)〕につき論理的整合性をもって記述しているかが，加点ポイント（部分点あり）。

(1) 張学良地方政府の教育政策の具体的内容（各政策の目的・執行組織，各政策間の連関など）。

(2) 関連先行研究が，何をどこまで明らかにしているのかの明示。

(3) ①「(2)」に照らして「(1)」に如何なる特徴があるのか，
②「①」がもった中国（あるいは中国東北地域）の近代教育史における特徴（意義）。

[設問3]

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以 上

国文学専攻

実施なし

外国語
専門

中国学専攻

外国語

中国学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（中国語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

中国学専攻

専 門

中国学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問 1．これまであなたはどのような研究活動を行って来たか。800 字以内で書きなさい。なお、メモや下書きには、用紙の裏面を利用して構いません。

問 2．大学院博士後期課程に進学した後、あなたは自身の研究をどのように進めていくつもりか。その研究計画について、800 字以内で書きなさい。なお、メモや下書きには、用紙の裏面を利用して構いません。

解答のポイント：

本設問は、面接時の資料として活用するのが主たる目的で、受験者それぞれの事情に応じて書いていただくものです。これまでどのように研究（学習）を行って来たのか、今後はどのように進めてゆきたいのかできるだけ具体的に述べてください。

以　　上

英文学専攻

実施なし

外国語
専門

ドイツ文学専攻

外 国 語

ドイツ文学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（ドイツ語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

ドイツ文学専攻

専 門

ドイツ文学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の選択肢の中から2問を選んで解答しなさい。3つの問題群 A. B. C それぞれに3問ずつあるが、どこから選択しても構わない。

それぞれの概念についてできる限り詳述し、その際具体例や関連事項も挙げて説明すること。文学・文化においては自身の積極的な考えも述べなさい。

解答のポイント

【A. 文学】

辞書に記載されているような用語の説明だけではなく、先行研究を踏まえた高い専門性のある解答が求められる。

【B. 語学】

辞書に記載されているような用語の説明だけではなく、先行研究を踏まえた高い専門性のある解答が求められる。

【C. 文化】

辞書に記載されているような用語の説明だけではなく、先行研究を踏まえた高い専門性のある解答が求められる。

以 上

社会学専攻社会学

外国語

社会学専攻社会学：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

社会学専攻社会学

日 本 語

※選択者なし

社会学専攻社会学

専 門

社会学専攻社会学：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

①～②⑤の標準解答。採点上の留意事項は表下の欄外注を参照。

番号	標準解答	欄外注
①	価値志向	
②	社会構造上の緊張	
③	誤認	
④	反復	
⑤	貨幣と権力という制御メディア	注 1
⑥	オートポイエーシス	
⑦	自発性	
⑧	フェイス	
⑨	背景的期待	
⑩	リキッド	
⑪	近代化	注 2
⑫	生産	
⑬	出身階層	
⑭	現実の社会的構成	
⑮	政治的機会構造	
⑯	感情資本主義	
⑰	個人化	注 3
⑱	多重共線性	
⑲	VIF（分散拡大係数）	
⑳	確率	注 4
㉑	セレクション	
㉒	比例ハザード	
㉓	時間依存共変量	注 5
㉔	内生性	
㉕	操作	

欄外注（採点上の留意事項）

- 注 1 ⑤は「システムの論理」「システムの命令」「非言語的制御メディア」など、生活世界の植民地化を適切⑤の標準解答は「貨幣と権力という制御メディア」とする。「非言語的制御メディア」または「貨幣と権力を媒介とするシステムの調整」は同趣旨の表現として正答とする。「システムの論理」「システムの命令」は関連概念ではあるが、標準解答と完全に同義ではないため、記述内容に応じて部分点の対象とする。
- 注 2 ⑪は「再帰的近代化」「科学技術」「産業化」「科学技術的・産業的發展」など、近代化が生み出すリスクという趣旨を適切に示す表現も正答として扱う。
- 注 3 ⑰は「個人化」を標準解答とする。ただし、ギデンズの議論との関連を踏まえ、「再帰的個人化」「自己の再帰的プロジェクト」等も同趣旨の解答として採点上考慮する。
- 注 4 ⑳は「結果発生確率」「事象が生起する確率」等も正答とする。厳密には、他の説明変数を一定としたときの結果発生の条件付き確率の対数オッズを指す。
- 注 5 ㉓は「時変共変量」「時間との交互作用」「時間依存係数」等も正答として扱う。比例ハザード仮定が成立しない場合の対処には、層別 Cox モデル等もある。
- 注 6 その他の番号についても、標準解答と実質的に同義であり、当該理論・分析概念を正確に表す用語は正答として扱う。

以 上

社会学専攻社会福祉学

実施なし

外 国 語
専 門

教育学専攻教育学

外国語

教育学専攻教育学：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

教育学専攻教育学

日 本 語

※選択者なし

教育学専攻教育学

専 門

教育学専攻教育学：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

【問 1】 「教育と境界」というテーマで、現代の教育問題を論じて下さい。扱うのは、どの国の教育問題でも構いません。

※この問題に対しては、受験者の関心に応じて多様な解答が考えられます。
以下は、あくまで1つの解答例です。

以下、現代に“特有の”教育問題ではないが、現代においても問題視される、「教育現場におけるアンコンシャス・バイアスの伝達」について論じていく。なお、本解答では、おもに日本の学校教育を念頭に置いている。

教育にはしばしば、「境界」を取り払う機能が期待されている。例えば道徳科の、「公正、公平、社会正義」の内容項目に見られるように、「差別」や「偏見」という形で社会に生じている「境界」の乗り越えを目指そうとする志向も、この期待の表れと言えるだろう。

しかし、そうした教育者側の意図とは裏腹に、教育が「境界」を作る、あるいは強化することの問題が指摘されてきた。その一つの例が、「隠れたカリキュラム」による、ジェンダーに関わるアンコンシャス・バイアスの伝達である。

「隠れたカリキュラム」とは、明文化された「顕在的カリキュラム」に示されているわけではないものの、日々の教育のなかで、被教育者である児童生徒が無意識のうちに学んでしまう内容（価値観や規範など）を指している。この観点から見たとき、例えば、教員が授業中に男子生徒ばかりを当てたり注意したりすることや、文化祭や体育祭のリーダーを男子生徒に限定すること、ケア的な役割を女子生徒に割り当てること等の接し方は、それらが積み重なることで児童生徒にジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスを伝え、男女の「境界」を不必要なところにまで作り、強めることにつながってしまう。

学校教育のなかでこうした「境界」が作られ強化されてしまえば、それは、児童生徒の将来的な選択肢を不当に狭めることにつながりかねない。

例えば上述のような環境下では、女子生徒が人前で積極的に発言することや、集団のまとめ役になること、男子生徒が周囲の人たちのサポート役になることに対して、自分自身も周りも違和感を持ち、そうした役割を選びにくくなってしまうことが考えられる。

近年、ジェンダーに関わる「隠れたカリキュラム」の危険性については学校現場でも浸透してきているものの、アンコンシャス・バイアスは「アンコンシャス」であるがゆえに、教員の側の自己反省が難しい。しかし、教育が児童生徒をエンパワーメントしていくためには、教育が（ジェンダーに限らないさまざまな）「境界」を生み出し、強化してしまう可能性があることを、教員自身が少なくとも自覚しておく必要があるだろう。この自覚が、教員から児童生徒への向き合い方を、少しでも倫理的なものへと更新していくのではないだろうか。

【問 2】 次の 2 つの問いに、日本語で回答して下さい。

- (1) 子どもの権利条約批准国に求められる学齢期の教育のあり方について論じて下さい。

【解答例】

子どもの権利条約は、子どもを権利の主体として捉え、学齢期の教育においてもその権利を保障することを求めている。

まず、第 28 条は、子どもの教育を受ける権利を認め、初等教育の義務化・無償化や、中等教育の発展・機会の提供などを求めている。また、第 29 条は、教育が子どもの人格、才能、精神的・身体的能力を最大限に発達させることを目指すべきことを定めている。さらに、第 29 条では、人権や基本的自由の尊重、文化的アイデンティティや価値観の尊重、平和・寛容・男女平等等を尊重する態度の育成も教育の目的とされている。

第 2 条の差別の禁止から、障害、性別、国籍、社会的背景等にかかわらず、すべての子どもに教育の機会が保障されなければならない。第 3 条は、子どもに関するすべての措置において「子どもの最善の利益」が主として考慮されることを求めている。また、第 12 条は、子どもが自分に影響を及ぼすすべての事柄について自由に意見を表明し、その意見が年齢・成熟度に応じて正当に重視される権利を保障している。したがって、学校では、教育内容や学校生活について子どもの意見を聴き、意思決定への参加を保障することが重要である。さらに、

第 19 条に基づき、子どもを暴力や虐待から守り、安全・安心に学べる環境を整えることも必要である。

このように、学齢期の教育は、単に知識・技能を習得させるだけでなく、一人ひとりの人格や能力を発達させ、権利を尊重される主体として成長することを支えるものでなければならない。そのため批准国には、すべての子どもの教育を受ける権利を保障するとともに、子どもの最善の利益と意見を尊重し、参加と発達を保障する教育の実現が求められている。

- (2) 中学校における「合理的配慮」について、具体的な例を挙げ、①教育内容および教育方法、②支援体制、③施設・設備の 3 つの観点から論じて下さい。

【解答例】

合理的配慮は、障害のある生徒が他の生徒と平等に教育を受ける権利を保障するため、個々の教育的ニーズに応じて必要な変更・調整を行うものである。

例えば、通常の学級に在籍する中学 2 年生の Aさんは、読み書きに困難があり、板書を写すことや長い文章を読むことに時間がかかる一方、口頭での説明や興味のある内容についての理解には大きな困難がない生徒とする。この場合、以下のように対応することが考えられる。

- ①教育内容および教育方法では、Aさんに対して、板書をすべて書き写すことを求めず、授業資料をデジタルで提供したり、タブレット端末の読み上げ機能や音声入力を活用したりすることが考えられる。また、長文の課題では文章量や提示方法を工夫し、重要な情報を視覚的に示すなど、Aさんが学習内容を理解するための方法を調整する。
- ②支援体制では、担任だけで判断するのではなく、本人・保護者との対話を基盤として、特別支援教育コーディネーターや教科担当者等が連携し、支援内容を検討することが重要である。必要に応じて、通級による指導や専門機関等とも連携し、個別の教育支援計画等に配慮の内容を位置付け、継続的に評価・見直しを行う。
- ③施設・設備では、Aさんが必要な情報を得やすいよう、教室内の掲示物や教材を整理し、視覚的に分かりやすい環境を整えることが考えられる。

重要なのは、障害の診断名だけを基準に配慮を決めるのではなく、A

さん本人が学校生活や学習のどこに困難を感じているのかを把握することである。その上で、本人・保護者と学校が建設的に対話し、実施した配慮の効果を確認しながら、必要に応じて内容を柔軟に見直していくことが求められる。

このように合理的配慮は、Aさんが他の生徒と共に学び、その持てる力を最大限に発揮できるよう、教育への参加を保障するための取り組みである。

以　　上

教育学専攻体育学

実施なし

外 国 語
専 門

心理学専攻

外国語

心理学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

心理学専攻

専 門

心理学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の大問Ⅰ～Ⅳすべてについて解答せよ。

解答の際は、1問につき1枚の指定された解答用紙を使用して解答すること。

Ⅰ 心理学研究における操作的定義について、「不安」を例にして説明せよ。

心理学研究における「操作的定義」とは、直接的に観察・測定することが困難な構成概念（心理的変数）を、客観的に観察・測定可能な具体的な操作や手順に置き換えて定義することを指す。

実証研究において「不安」という構成概念を扱う場合、研究者はこれを測定可能な形へ落とし込む必要がある。主な操作的定義には以下の3つが存在する。

1. 測定器・尺度による操作的定義

研究参加者の自己報告を数値化する方法である。例えば、「不安」を STAI (State-Trait Anxiety Inventory) や MAS (Manifest Anxiety Scale) といった自記式尺度を用いて測定し、該当する項目の合計点として定義する。この場合、「特定の心理尺度で一定以上の得点をとること」自体が、その研究における「不安」の発生を意味する。

2. 生理的・行動的指標による操作的定義

身体反応や外見的行動を指標とする方法である。例えば、「不安」の生理的側面を捉えるため、皮膚電気活動の皮膚導電率の上昇度や唾液中コルチゾール濃度、心拍変動の低周波・高周波比として操作的に定義する。また行動面では、課題遂行時における視線の揺らぎや対人場面における自己接触行動の回数などを指標とすることもある。

3. 実験的操作（誘発条件）による操作的定義

1, 2 では測定により「不安」を操作的に定義したが、3 では、研究参加者に特定の手続きによって「不安」状態を引き起こすことで操作的に定義する。すなわち、独立変数としての「不安の喚起状況」が操作的定義となる。「不安」を発生させる操作として、例えば「5分後に大勢の前でスピーチを行わなければならないと教示された状態」や「いつ電気ショックが与えられるかわからない状態」として定義する。

操作的定義の評価と課題

適切な操作的定義を設定する際には、構成概念妥当性の確保が重要である。操作的に定義された数値や行動が、真に意図した「不安」を反映しているか（例えば、単なる「怒り」や「全般的な生理的興奮」と混同されていないか）の吟味が必要である。また、定義をあまりに狭い範囲に限定しすぎると、研究の外部妥当性（実世界の「不安」への汎用性）が損なわれる可能性も出てくる。

研究者は、目的に応じて上記のような方法を組み合わせ、客観性と妥当性を兼ね備えた操作的定義を厳密に構築することが求められる。

Ⅱ 行動変容に対する動機づけの理論についてその概要を述べるとともに、主な理論について2つ取り上げ、具体的に論ぜよ。

行動変容に対する動機づけの理論とは、人がある行動を開始し、それを維持したり、逆に望ましくない行動を減らしたりする過程を、動機の形成や変化という観点から説明するものである。健康行動、学習行動、運動などでは、単に知識を与えたり行動を指示したりするだけでは十分な変化が生じないことも多い。そのため、その人がなぜ行動しようとするのか、また周囲の人々との関係が行動にどのような影響を与えるのかを理解することが重要である。

代表的な理論の一つが Deci と Ryan による自己決定理論である。この理論では、動機づけを単純に「ある・ない」と考えるのではなく、報酬や罰などによって生じる外発的動機づけから、自らの興味や価値に基づく内発的・自律的動機づけまで、その質の違いを重視する。特に、自律性、有能感、関係性という三つの基本的心理欲求が満たされることで、自律的な動機づけが促進され、行動が持続しやすくなると考える。例えば運動を継続する場合でも、他者から強制されるより、自分で目標を選び、上達を実感しながら周囲から支援を受ける方が継続しやすい。

もう一つは社会的動機づけである。これは、他者との関係や社会的評価などによって生じる動機づけを指す。McClelland は、代表的な社会的動機として達成欲求、親和欲求、権力欲求などを挙げている。達成欲求は目標を達成し高い成果を得ようとする動機、親和欲求は他者と良好な関係を築きたいという動機、権力欲求は他者や集団に影響を与えようとする動機である。例えば健康行動においては、家族や仲間からの励まし、集団への所

属感，他者からの評価などが行動開始や継続を促す場合がある。

このように行動変容には，本人の内的な価値や自己決定だけでなく，他者との関係や社会的環境も影響する。そのため，個人の動機づけの特徴と社会的背景の双方を踏まえて理解を深めることが重要である。

Ⅲ 実験計画法におけるラテン方格法とはどのようなものを説明し，この方法の利点と制約を説明せよ。

【模範解答】

ラテン方格法（Latin square design）とは， k 種類の処理（実験条件）を k 行 k 列の正方格子状に配置し，各行および各列にすべての処理がちょうど 1 回ずつ出現するように構成する実験計画法である（図 1）。心理学では主に，2 つの交絡要因を同時に制御するブロッキング手法，そして実験参加者内計画において提示順序や疲労，練習効果などの順序効果を統制するためのカウンターバランス法として用いられる。

図 1 ラテン方格の構成

		提示順			
		1	2	3	4
参加者群	グループ 1	A	B	C	D
	グループ 2	B	C	D	A
	グループ 3	C	D	A	B
	グループ 4	D	A	B	C

この手法の利点は，実験規模（実験参加者数や試行数）を大幅に節約しつつ，高い検出力を確保できる点にある。3 要因（行・列・処理）の全組み合わせを検討する要因計画では k^3 組のセルを要するが，本手法では k^2 組のセルに減らすことができる。実験参加者内計画でも，全順序の組み合わせを実施することが難しい場合にも， k 通り（ないしその倍数）の順序で各条件の提示順位を等しくできる。

一方で，要因間に交互作用を想定しないという加法性の仮定が必須である点である。処理要因と行・列要因の間に交互作用が存在する場合，その効果が主効果や誤差項と交絡し，歪んだ推定や過誤を招く。また，図 1 の

ような単純なラテン方格では提示順は均等にできるものの、直前の条件が後続に及ぼす繰り越し効果は統制できない。これを統制するには全条件の先行・後続関係を均等にしたり方格を増やしたりする必要がある。

IV 双極性障害者への心理支援における「心理教育」について具体的に論ぜよ。

【解答のポイント】

1. 双極性障害（Bipolar Disorder）は、躁鬱病と言われていた頃を含めて、長い歴史がある世界的な気分障害のひとつであり、双極Ⅰ型と、双極Ⅱ型がある。
2. 「混合状態」も存在する。
3. 双極性障害への心理支援において大切なのは「心理教育」である。
4. その理由は、自分の状態に、自分で気づくことができ、対応できるようになれば、状態の悪化を防ぐことができるからである。
5. とくに、うつ状態には自分で気づきやすいが、軽躁状態を自覚的に捉えることが難しいので、ここに心理教育のコツが生まれる。

以 上

地理学専攻

実施なし

外国語
専門